



平成28年4月14日

各 位

会社名 株式会社ハウスイ  
代表者名 代表取締役社長 高橋 昌明  
(コード番号 1352 東証第一部)  
問合せ先責任者 執行役員管理本部副本部長 小林 留一  
(TEL 03-3543-3536)

(訂正) 平成26年3月期第2四半期決算短信 [日本基準] (連結) の一部訂正について

当社は、平成25年10月30日に開示いたしました表記開示資料について、一部訂正を行いましたのでお知らせいたします。

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、平成28年4月14日付「過年度の決算短信等の訂正並びに有価証券報告書等の訂正報告書の提出に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は\_\_\_\_\_線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから、訂正箇所を含め訂正後のみ全文を記載しております。

以 上

(訂正後)



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハウスイ

コード番号 1352 URL <http://www.hohsui.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 昌明

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部副本部長 (氏名) 小林 留一 TEL 03-3543-3536

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無: 無

四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	24,118	10.0	178	△9.6	220	△8.4	105	△8.7
25年3月期第2四半期	21,934	5.1	197	6.9	240	4.5	115	17.7

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 136百万円 (2.2%) 25年3月期第2四半期 133百万円 (10.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	1.26	-
25年3月期第2四半期	1.37	-

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	21,996	5,606	24.1	63.20
25年3月期	17,146	5,642	31.2	63.91

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 5,292百万円 25年3月期 5,352百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	-	-	2.00	2.00
26年3月期	-	-	-	-	-
26年3月期(予想)	-	-	-	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	12.5	410	△8.7	450	△12.8	260	4.8	3.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 1社（社名）株式会社せんにち、除外 1社（社名）恵光水産株式会社

（注）詳細は、【添付資料】P3. 「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、【添付資料】P3. 「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	83,790,000株	25年3月期	83,790,000株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	45,744株	25年3月期	44,321株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	83,744,787株	25年3月期2Q	83,747,027株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P2. 「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アベノミクスによるデフレ脱却へ向けた経済政策等により、円安、株高が進行し、国内生産・海外輸出の回復への期待が高まり、設備投資や個人消費も持ち直しの動きがみられることから、景気は緩やかに回復しつつあります。

一方、水産・食品業界におきましては、円安による輸入価格の上昇や、消費者の低価格指向、節約志向が続く厳しい経営環境にありました。

このような状況のもと、当社グループは引き続き顧客のニーズに迅速に対応するとともに、増強してきた設備やグループの持つ機能を最大限に活用して収益の確保に努めてまいりました。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績は、子会社・株式会社せんいち設立や関係会社株式の売却益の計上等により、売上高241億18百万円（前年同期比21億83百万円増）、営業利益1億78百万円（前年同期比18百万円減）、経常利益2億20百万円（前年同期比20百万円減）、四半期純利益1億5百万円（前年同期比9百万円減）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

#### ① 冷蔵倉庫事業セグメント

冷蔵倉庫事業セグメントは、保管料単価の値上げ効果があったものの、在庫量の減少により、売上高・営業利益とも減少いたしました。その結果、売上高は21億円（前年同期比29百万円減）となり、営業利益は1億16百万円（前年同期比18百万円減）となりました。

#### ② 水産物卸売事業セグメント

水産物卸売事業セグメントは、子会社・株式会社せんいちの設立による厚焼玉子事業への参入やリテールサポート部門の顧客増により、売上高は220億18百万円（前年同期比22億13百万円増）となり、営業利益は61百万円（前年同期比0百万円減）となりました。

セグメント業績の詳細については、「4. 四半期連結財務諸表(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」をご参照ください。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産の部

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前期末比48億50百万円増加し、219億96百万円となりました。

流動資産は、現金や棚卸資産の増加等により前期末比11億90百万円増加の82億58百万円となりました。

固定資産については、冷蔵倉庫事業の設備投資等により、前期末比36億60百万円増加し、137億38百万円となりました。

#### ② 負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前期末比48億86百万円増加し、163億90百万円となりました。

流動負債は、仕入債務の減少があったものの、借入金の増加があったため、前期末比12億98百万円増加の81億44百万円となりました。

固定負債は、借入金の増加等により、前期末比35億88百万円増加し、82億46百万円となりました。

#### ③ 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、第2四半期累計期間純利益が1億5百万円となったものの、株主配当金の支払1億67百万円等により前期末比36百万円減少の56億6百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想は、平成25年7月30日に公表しました連結業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、子会社・株式会社せんいちを設立したことにより、同社を連結の範囲に含めております。

また、第1四半期連結会計期間において、恵光水産株式会社の株式を一部売却したことにより、持分比率が低下したため、連結の範囲から除外しております。ただし、平成25年6月30日をみなし売却日としたため、第1四半期連結会計期間の恵光水産株式会社の損益計算書については連結しており、同社の貸借対照表については連結しておりません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	382	1,280
受取手形及び売掛金	4,026	<u>3,945</u>
商品及び製品	1,493	1,958
原材料及び貯蔵品	6	17
関係会社預け金	988	655
繰延税金資産	51	51
その他	146	<u>374</u>
貸倒引当金	<u>△27</u>	<u>△24</u>
流動資産合計	<u>7,068</u>	<u>8,258</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,641	11,929
減価償却累計額	<u>△7,244</u>	<u>△7,398</u>
建物及び構築物(純額)	<u>4,397</u>	<u>4,530</u>
機械装置及び運搬具	3,047	3,016
減価償却累計額	<u>△2,348</u>	<u>△2,336</u>
機械装置及び運搬具(純額)	<u>698</u>	<u>680</u>
工具、器具及び備品	277	303
減価償却累計額	<u>△199</u>	<u>△207</u>
工具、器具及び備品(純額)	<u>78</u>	<u>95</u>
土地	3,096	3,304
リース資産	406	527
減価償却累計額	<u>△190</u>	<u>△234</u>
リース資産(純額)	<u>215</u>	<u>292</u>
建設仮勘定	968	3,337
有形固定資産合計	<u>9,454</u>	<u>12,241</u>
無形固定資産		
のれん	—	745
その他	161	172
無形固定資産合計	<u>161</u>	<u>918</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	174	293
長期貸付金	6	6
繰延税金資産	153	149
その他	127	129
貸倒引当金	<u>—</u>	<u>0</u>
投資その他の資産合計	<u>461</u>	<u>578</u>
固定資産合計	<u>10,078</u>	<u>13,738</u>
資産合計	<u>17,146</u>	<u>21,996</u>

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,190	4,090
1年内返済予定の長期借入金	138	88
1年内返済予定の関係会社長期借入金	70	234
短期借入金	600	1,400
関係会社短期借入金	900	1,300
リース債務	74	97
未払法人税等	120	156
賞与引当金	74	93
役員賞与引当金	13	—
その他	664	684
流動負債合計	6,846	8,144
固定負債		
長期借入金	3,126	4,106
関係会社長期借入金	64	2,618
リース債務	141	199
退職給付引当金	870	885
役員退職慰労引当金	0	—
本社移転損失引当金	147	147
長期預り保証金	6	6
長期未払金	117	117
負ののれん	183	164
固定負債合計	4,657	8,246
負債合計	11,503	16,390
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,485	2,485
資本剰余金	1,222	1,220
利益剰余金	1,630	1,569
自己株式	△1	△1
株主資本合計	5,336	5,273
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15	19
その他の包括利益累計額合計	15	19
少数株主持分	290	313
純資産合計	5,642	5,606
負債純資産合計	17,146	21,996

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	21,934	<u>24,118</u>
売上原価	20,004	<u>21,987</u>
売上総利益	1,930	<u>2,130</u>
販売費及び一般管理費	1,733	1,951
営業利益	197	<u>178</u>
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	1	1
負ののれん償却額	18	18
雑収入	40	65
営業外収益合計	61	87
営業外費用		
支払利息	18	44
雑支出	0	1
営業外費用合計	18	46
経常利益	240	<u>220</u>
特別利益		
関係会社株式売却益	—	63
特別利益合計	—	63
特別損失		
事務所移転費用	—	1
固定資産除却損	5	—
特別損失合計	5	1
税金等調整前四半期純利益	235	<u>281</u>
法人税等	101	149
少数株主損益調整前四半期純利益	133	<u>132</u>
少数株主利益	18	27
四半期純利益	115	<u>105</u>

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	133	<u>132</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	3
その他の包括利益合計	△0	3
四半期包括利益	<u>133</u>	<u>136</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	114	<u>108</u>
少数株主に係る四半期包括利益	18	27

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	冷蔵倉庫事業	水産物卸売事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,130	19,804	21,934	-	21,934
セグメント間の内部売上高又は振替高	47	8	55	△55	-
計	2,177	19,813	21,990	△55	21,934
セグメント利益	135	62	197	-	197

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致している。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	冷蔵倉庫事業	水産物卸売事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,100	<u>22,018</u>	<u>24,118</u>	-	<u>24,118</u>
セグメント間の内部売上高又は振替高	45	10	55	△55	-
計	2,145	<u>22,028</u>	<u>24,174</u>	△55	<u>24,118</u>
セグメント利益	116	<u>61</u>	<u>178</u>	-	<u>178</u>

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致している。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「水産物卸売事業」において、株式会社千日総本社から事業を譲り受けたことにより、のれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において777百万円であります。